

[市民の風統合ML:3416] TPP11「大筋合意」を受けて

1 件のメッセージ

icci8_14@yahoo.co.jp <icci8_14@yahoo.co.jp>

2017年11月25日 12:05

返信先: 3-shimin@freeml.com

To: "\"3-shimin@freeml.com\""" <3-shimin@freeml.com>

手稲区の一ノ宮です。

去年の夏から風有志の「TPP検討チーム」に予備知識もないまま参加し、少しずつTPPの危ういルールがわかってきたところで、トランプ大統領の離脱宣言。TPPはとん挫と油断していたところ、先日の「大筋合意」報道がありました。

自分の中で自己矛盾も含め「なぜ？」が渦巻き、先日

TPPの疑問点を中心にミーティングしましたので、その時のご報告をさせて下さい。

◆疑問その①

これまでTPP反対の根拠として、米国拠点のグローバル企業(医療分野のファイザー、農業分野のモンサントなど)が進出しやすくするためのルール作りだからと説明してきたが、米国が抜けた現状では反対の根拠がなくなったのでは？

→日本の多国籍企業にも米国のTPP推進勢力と同じ思いがある。(例えばコンビニ業界の外資規制緩和でアジア途上国への進出が進むなど。)

また住友化学がモンサントの除草剤を扱っていたり、三井住友信託銀行、みずほ銀行が米国資本だったり、日本の企業が米国グローバル企業と密な関係にあることから、米国離脱と言ってもグローバル企業の思惑は生きている。

◆疑問その②

理不尽なISDS条項になぜ各国は反対しないのか？

→マレーシア、カナダが個別に条件をつけているのは、ISDSから守るためでは、という話が出ました。

その後、新聞報道で今回凍結した協定の中にISDS条項の一部が入っていることがわかりました。(「投資合意」と「投資許可」だそうです。ただ、条文にこういった文言の項目はないため、どこまで凍結の対象になるのかははっきりしないそうです。)

◆疑問その③

グローバル企業は米国でさかんにロビー活動を行ってきたが、トランプ大統領はそれになびかなかったということ？

→大統領選では、グローバリズムの影響で白人労働者が失業したことをアピールし、TPP離脱を選挙公約に掲げていたので、それを実行した。

トランプ大統領は米国の利益になることには賛成なので、TPPではない形の2国間協定などで個別に協議してグローバル企業がTPPより更に利益を上げる仕組みを進めようとしている。なびかなかった訳ではない。

◆疑問その④

日本のメディアの大半が今回の「大筋合意」報道にあたって「日米FTAでTPP以上のことを要求されないように、その歯止めとして合意を急いだ」という「言い訳」を伝え、容認が前提のような報道をしていたが、なぜか？

→これはTPPに限ったことではない。政府の考えと違う主張を報道すると「メディアは偏っている」と批判されるので、政府の方針に沿った報道になる傾向がこの数年強くなっている。

◆その他

以上の話の中で、①のコンビニ業界の東南アジア進出や、今回の強引な「大筋合意」(英文版では「主要項目での合意」)への進め方がまるで戦前の帝国主義を思わせる、という意見もありました。

また、米国が離脱する前の輸入枠がそのままなので、今後日米FTAで更に輸入枠が増えることが予想され、以前のTPP12より農業への打撃は大きくなる。

日本の農業、食の安全、食料自給率、食の安全保障の観点からも疑問を感じる、という意見も出されました。

◆では今後私たちに出来ることは...？

まず、現状はどうなっているか、農業ジャーナリストの会などへ連絡を取り、学習会を開くことにしました。

詳細が決まりましたら、お知らせします。

ブランクもあり、情報が少ない中、手探り状態です。

何か参考になる資料、講演会など情報ありましたら、お知らせいただけると有難いです。

どうぞよろしくお願い致します。

MLホームページ: <https://www.freeml.com/3-shimin>

Powered by freeml -- <https://www.freeml.com/> --
-----[freeml byGMO]-----

あなたの街のチラシがいつでも無料で見放題！

チラシをクリックしてチラシが拡大されたらポイントゲット♪

まずはかんたん登録♪ -ポイントタウン-

<https://www.pointtown.com/ptu/rd.cgi?cid=8912>